

『啄木のふるさと』もりおかの短歌

夏の部 優秀賞発表

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生れ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に実施しているこの事業も2年目を迎えました。年間を四つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。6月から8月まで募集した夏の部には観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は秋の部を募集しておりますので、啄木になった気分で行書きの短歌に一度挑戦してみてくださいいかがですか。

夏の部優秀賞十首

思いこめて
啄木が詠いし岩手山
裾野どつしり我を迎える

東京都板橋区 阿部美保子

新幹線
右にカーブを切る先に
空を圧して岩手山在り

宮城県仙台市 阿部 堅市

やわらかき稲穂の風が
啄木の
母校の窓を吹きわたるゆく

茨城県久慈郡 高梨 とし

盛岡を去ってゆくとき
啄木も
この大空を見上げただろう

茨城県桜川市 島田 瞳

砂浜に
君の名前を書いてから
つかんでみたけどすぐにこぼれた

茨城県桜川市 増渕 絵理

となりにて
君の前髪木漏れ日と
同じリズムで揺れている幸

岩手県岩手郡 岩井 紗智

啄木の新婚の家に
寝ころべば
水無月の風に二人の声がす

神奈川県横浜市 牛島 芳一

啄木に
思いを馳せる空の下
隣で吾子がそつと微笑む

徳島県名西郡 横島 和美

北上の
川岸の萩の枝長く
秋をいざなうごとく揺れている

茨城県龍ヶ崎市 岡田 進

中津川
涼しき木陰の散歩道
ふつと感じる歴史の匂い

岩手県盛岡市 細矢 江里

平成二十一年夏の部
投稿数 百九十八首
選者 柏崎 駿二氏

